

木造住宅の耐震改修工法

[名称] 荒壁パネル	評価番号	W-010
	評価年付日	H24. 3. 15

[申請者] 株式会社 丸浩工業	[他機関での評価] 国土交通省
--------------------	--------------------

■日本建築の壁下地である従来の荒壁の優れた性能はそのままに、施工の手間など荒壁の難点を克服し、耐震・防火・環境面に配慮したものが荒壁パネルです。

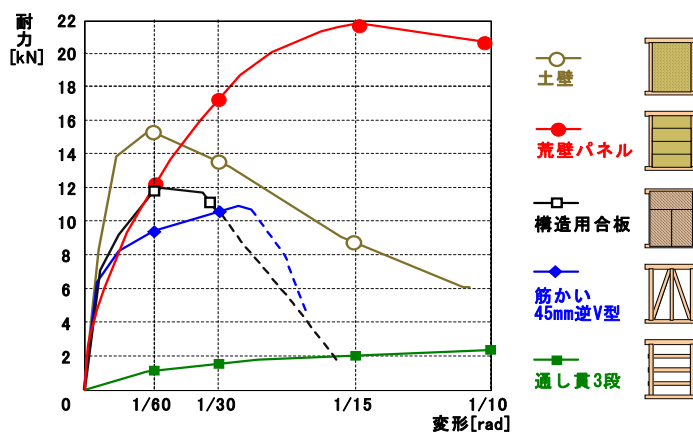
■荒壁パネルの特徴

・揺れが大きいほど耐える粘り強い耐震性。壁倍率両面 2.6 倍（国交省大臣認定）
壁強さ倍率 5.6kN/m（換算）

・土・古紙など自然素材を使用
調湿・断熱性に優れ、ホルムアルデヒド規制対象外。

・火災に強い。難燃材・外壁
防火構造（国交省大臣認定）

・ビス留めの簡単施工。
工場生産による安定した
品質性。

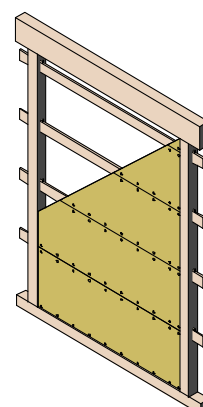
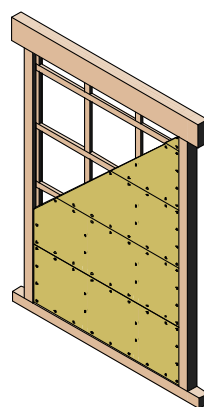
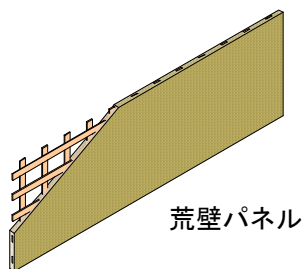


他の木造耐力壁との比較

（京大防災研究所耐震性能評価試験より）

■荒壁パネル施工要領

- ①下地の施工（受け材・貫下地）
- ②壁の長さに合わせてパネルを加工
- ③パネルを張る（ステンレスコーススレッド）
- ④ジョイント処理、中塗り、仕上げ塗り



[問い合わせ先]

(株)丸浩工業 京都市伏見区深草西浦町 1-49 tel:075-641-4405 <http://www.maruhiro.jp>

